

# 当事者「家族」のための哲学対話

～家族の「普通」を問い直す～

## シンポジウム

「家族とは何なのか?」「家族と共に暮らすということはどのような経験なのか?」

障害のある家族と暮らしてきた当事者たち、乳幼児の母親たちと哲学対話をしてきた実践者に講演いただき、それぞれの経験から問題にアプローチし、家族をめぐる「当たり前」の問い直しを試みる。

▶▶

2023年2月23日(木・祝) 14:00～17:00

13:30より入室可能

会場: Zoom 参加費: 無料

要登録 (問い合わせ先にメールをください。)

問い合わせ先: [philosophy\\_cafe@koala.kobe-u.ac.jp](mailto:philosophy_cafe@koala.kobe-u.ac.jp) (稲原)

### プログラム:

司会: 池田喬(明治大学) 稲原美苗(神戸大学)

14:00～14:10 趣旨説明 稲原美苗(神戸大学)

14:10～14:40 「普通」のわたしに知的障害者の息子が教えてくれていること

足高聖子 (保護者)

14:40～15:10 「兄弟」という視点から「家族」を考える

高木佑透 (『僕とオトウト』映画監督)

15:10～15:40 乳幼児をもつ母親が哲学対話をするということ

尾崎絢子 (はなこ哲学カフェ主宰)

15:40～16:00 休憩

16:00～17:00 全体対話

主催: 日本学術振興会科学研究費基盤 B 19H01185「哲学プラクティスと当事者研究の融合: マイノリティ当事者のための対話と支援の考察」(代表: 稲原美苗)

共催: 神戸大学大学院人間発達環境学研究科「ヒューマン・コミュニティ創成研究センター」ジェンダー・コミュニティ支援部門

協力: カフェフィロ